

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョイール石垣（第1単位）		
○保護者評価実施期間	2026年2月3日		～ 2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2026年2月3日		～ 2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応を軸とした専門性の高い支援と、保護者との密な情報共有	お迎え時の口頭報告やコミュニケーションアプリを通じて日常的にお子様の状況を共有し、定期的なモニタリング面談も実施している。	共感的支援の評価は高い一方、満足度に「どちらともいえない」の回答も見られるため、個別ニーズのさらなる把握と対応の個別化を進める。
2	組織的な安全管理体制の構築と日常的なリスク共有	毎朝のヒヤリハット確認と対策のシート共有、毎月の避難訓練実施、BCP策定など、安全管理を組織全体で取り組んでいる。事故防止・虐待防止研修も継続して実施している。	訓練の実施内容や安全計画について保護者への周知が不十分な状況があるため、具体的な内容を定期的に報告・共有する仕組みを整える。
3	個別支援計画に基づく一貫性のある支援の実施	全職員が共通理解のもと個別支援計画を共有し、計画に沿った支援を実施している。保護者評価でも計画説明・同意プロセスや支援内容への評価が高く、ガイドラインの4つの基本活動を踏まえた多角的な支援に取り組んでいる。	TASPやVineland-IIなどのフォーマルなアセスメントツールの導入を進め、計画の客観的な根拠をさらに強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援前後の職員間打ち合わせ・振り返りが定例化できていない	個別対応中心のシフト構造上、全員が集まる時間確保が難しく、支援前の役割確認・終了後の振り返りともに「いいえ」が多数を占める。現状はスタッフ間の個別的な情報交換に留まっている。	短時間でも支援前後に全員が参加できる仕組みを設計し、チームとしての気づきの共有と翌日の支援改善に繋げる。
2	地域交流・保護者同士の交流機会の不足	個別療育主体かつ土日祝休みの運営形態のため、他のこどもや地域との接点、保護者同士のつながりを生む機会が構造的に少ない。保護者評価でも交流機会への「いいえ」「わからない」の回答が目立つ。	地域行事への参加や保護者交流会の年1回以上の定期開催を年間計画に盛り込み、家族支援の充実を図る。
3	第三者評価・客観的アセスメントの活用が不十分	第三者評価の実施状況が職員間で共有されておらず、フォーマルなアセスメントツールの導入も仕組み化できていない。支援記録も保護者報告中心で、検証・改善に活かしにくい構造になっている。	同グループ内での相互評価の定期実施と、TASPなどの標準化されたアセスメントツールの段階的導入により、支援の客観的な質保証体制を構築する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ジョイーレ石垣（第1単位）
------	---------------

公表日 2026年3月31日

利用児童数 16

回収数 6

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1		1	設備基準を遵守し、備品を整理して安全な空間の確保に努めています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1		2	基準を上回る人員配置を行い、一对一の個別療育が実施できる支援体制を心がけています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		2		4	お子様の特性に合わせて、活動内容が理解しやすい環境設定に努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	3	2		1	毎日の清掃と消毒を徹底し、清潔で居心地の良い空間維持を心がけています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1			研修を通じて職員の専門性を高め、特性に寄り添った支援に努めています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	1			公表しているプログラムに基づき、一貫性のある支援を心がけています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5			1	定期的にアセスメントを行い、ニーズに沿った最適な計画作成に努めています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6				ガイドラインを遵守し、本人や家族に必要な支援設定を心がけています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	1		1	日々の活動が計画に乖離しないよう、活動記録と共に毎支援後に評価を行うよう努めています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	1		2	お子様が飽きずに取り組みめるよう、多彩なプログラムの提供を心がけます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1			5	個別療育を優先しつつ、地域との交流機会についても検討し周知に努めます。	
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	1			契約時には運営規程や負担金等について、説明を行っています。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5			1	計画書作成時には目標や内容を分かりやすく伝え、共有に努めています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1		4	ペアトレ等の情報提供を強化し、ご家族を支える支援の充実にも努めます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6				連絡帳や送り迎え時の対話を通じ、お子様の状況を密に共有するよう心がけます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6				モニタリング面談を定期的実施し、子育ての助言や相談対応に努めます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	1			保護者の思いに寄り添い、共に成長を見守る共感的な対応を心がけます。	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				6	交流の場を検討すると共に、相談しやすい雰囲気作りを常に心がけます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1		2	コミュニケーションアプリ（チャット）を活用し、お困りごとに迅速かつ丁寧に対応するよう努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1			円滑なコミュニケーションを図り、確実な情報伝達ができるよう努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4			2	ホームページやインスタでの発信を増やし、事業所の活動の可視化に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	1		2	守秘義務を徹底し、大切なおお客様の個人情報厳重に管理し努めます。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			4	各種マニュアルを再周知し、緊急時の対応を正しく伝えるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			4	訓練の実施内容を具体的に報告し、安心感に繋がる周知を心がけています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2			4	避難訓練の実施内容を共有し、お客様の安全を最優先した支援に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			3	発生時は迅速に連絡し、状況と再発防止策を丁寧に説明するよう努めます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	1			安心できる居場所となれるよう、信頼関係の構築を大切に心がけます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	2		1	笑顔で通っていただけるよう、興味関心に合わせた支援に努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	3			今後の評価を真摯に受け止め、更なる満足度向上を目指し改善に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ジョイール石垣 (第1単位)		公表日 2026年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		設備基準を遵守し、活動内容に合わせて学習と遊びのスペースを分ける工夫に努めています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		お子様の状態や利用人数に合わせ、一対一の支援時間が設定できる人員配置を心がけています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		特性に応じた構造化に加え、必要に応じた環境調整を継続し、より過ごしやすい場作りに努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃と消毒を徹底し、お子様が心身ともにリラックスして過ごせる環境維持を心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		集中したい時やクールダウンが必要な際、個別に過ごせる静かな環境の提供に努めています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	5		目標設定と振り返りに全職員が主体的に参画し、サービスの質の向上に向けた業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			保護者アンケートの結果を真摯に受け止め、課題を共有して迅速な業務改善に繋げるよう心がけます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員の気づきや意見を定期的に吸い上げ、現場の声を反映したより良い運営体制の構築に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	同グループの他事業所から意見をもらう機会を設け、客観的な視点を取り入れた業務改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			自己評価結果をホームページ等で適切に公表し、運営の透明性と地域からの信頼向上に努めています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			適切な支援プログラムを作成・公表し、活動の見える化と一貫性のある支援の実施を心がけます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			多角的な視点でお子様を理解し、適切なアセスメントに基づいた支援計画の作成に努めています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			児発管だけでなく全職員が共通理解を持ち、お子様の最善の利益を考慮した支援検討に努めます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			作成した個別支援計画を職員間で確実に共有し、目標に沿った一貫性のある支援を心がけています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	現時点では使われていない。Vineland -II や TASPなどの評価ツールを導入すべき	今後はTASP等の標準化された評価ツールも取り入れ、より客観的な実態把握の実施に努めます。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			5領域等のねらいを適切に盛り込み、お子様の状況に応じた具体的な支援内容の設定に努めています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		チームで意見を出し合い、興味関心を広げる多彩な活動プログラムの提供に継続して努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			活動内容が固定化しないよう、お子様の反応を見ながら常に新しい刺激や体験の提供を心がけます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	集団活動は行っていない	個別活動を軸に据えつつ、社会性を育てための集団活動の導入についても前向きに検討し努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	チームで連携して支援を行っているが、支援内	支援前の共有を徹底し、その日の役割分担や支援目標をチームで一貫して遂行できるよう努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	支援終了後の打ち合わせは必ずしも行われてい	支援後の振り返りを定例化し、気づきを翌日の支援や計画の改善へ迅速に繋げるよう心がけています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1		日々の記録を記し、支援の効果を客観的に検証してサービスの質の向上に継続して努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			お子様の変化に合わせて定期的にモニタリングを行い、常に最適な計画へ見直しに努めています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	1	事業所全体としては4つの基本活動を複数組み	ガイドラインの基本活動をバランスよく組み合わせ、多角的な発達支援を行えるよう心がけています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			お子様が自ら選択し決定できる場面を意図的に作り、自己決定力を育てるための支援に努めています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			会議にはお子様を熟知した担当者が参画し、関係機関と足並みを揃えた支援の提供に努めます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			医療や教育、福祉の各機関と密に連携し、お子様を多角的に支える体制の維持を心がけています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		学校との連絡調整を密に行い、下校時刻や行事等の変化にも柔軟かつ安全に対応できるよう努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	就学前から利用している児についてはできてい	早期からの支援内容を適切に引き継ぎ、環境変化による不安を軽減できる切れ目ない支援に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		進学・移行時には丁寧な情報提供を行い、新たな環境でも継続した支援が受けられるよう努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	地域には児童発達支援センターが存在しない	専門機関からのスーパーバイズを積極的に受ける機会を検討し、支援の質の向上に継続して努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		地域行事への参加等、お子様が地域社会の中で多様な経験を積める機会の創出に向けて努めてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		自立支援協議会等の地域のネットワークへ参画し、地域全体で支える体制づくりに協力して努めます。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		お迎え時、療育の様子を保護者に口頭でお伝えしている。	お迎え時の対話等を大切に、お子様の成長や課題について保護者様との共通理解に努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		家族支援プログラム等の情報提供を充実させ、ご家族が安心して子育てに向き合えるよう努めます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		運営規程や費用等について、重要事項を分かりやすく丁寧に説明し、納得感のある対応を心がけます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	こどもの意向は確認できていないことが多い	お子様と保護者様の意思を最大限に尊重し、最善の利益を考慮した計画作成のプロセスに努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			計画内容を詳細に示しながら説明を行い、保護者様からの同意と共通理解を得るための対話を心がけます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			子育ての不安や悩みに共感を持って寄り添い、適切な助言を通じてご家族の安心感に繋がるよう努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3		交流会等の機会を検討し、保護者様同士や兄弟児が支え合える繋がりを作れるよう支援に努めます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			苦情窓口を周知し、いただいたご意見には迅速かつ誠実に対応することで、早期改善と信頼回復に努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2		SNS等を活用して活動内容を可視化し、事業所の活動をより身近に感じていただけるよう努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			個人情報の重要性を深く認識し、厳重な管理体制のもとでプライバシーの保護を徹底して努めます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			多様な手段を用いて円滑なコミュニケーションを図り、確実な情報伝達と相互理解の向上に努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		地域行事への招待等を通じて、地域との繋がりを深め、社会に開かれた事業所運営を心がけます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		毎月訓練を実施している	毎月の訓練を通じて緊急時の対応力を高め、お子様と職員の安全を確実に守れるよう努めています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			非常災害に備えた訓練を定期的に行い、万が一の際にも事業が継続できるよう備えに努めています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			発作やアレルギー等の健康状態を詳細に把握し、個々の状況に合わせた安全な支援を心がけています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		医師の指示に基づく正確な対応を徹底し、安心して預けいただける食の安全確保に努めています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			研修や点検を継続し、お子様が安全な環境で安心して活動できる体制の維持に努めています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	周知はできていない	取組内容をご家族へ丁寧に説明し、安全への理解を深めていただくための情報共有に努めます。

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎朝ヒヤリの確認を実施し、対策まで考えシートに残し全員で共有できる形を取っている	毎朝の共有と再発防止策の検討を徹底し、事故を未然に防ぐ安全意識の向上に努めています。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			研修等を通じて虐待防止の意識を高め、お子様の権利を尊重する安全な支援体制の維持を心がけます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		組織的な決定と事前説明を徹底し、お子様の尊厳を第一に考えた適切な支援の提供に努めています。